



日本共産党 京都市議員
ひぐち英明
議会報告

ホームページ <http://www5f.biglobe.ne.jp/~higuchi/>

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください！

こんにちは ひぐち英明です

第230号 2013年5月1日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel.761-6341
：左京生活相談所 Tel.781-6622

実効ある「緊急経済対策」求める 2013春の府市民総行動

国の緊急経済対策として、13兆円規模の大型補正予算が組まれましたが、それが、本当に労働者・府市民のふところを潤し、京都の地域経済を活性化するものとなるよう、京都府・市に働き



共産党市会議員団も連帯して宣伝

かけるということで、「13春の府市民総行動」が行われました。京都市役所前でも、総評を中心とした実行委員会のみなさんが、宣伝行動をしました。

国の補正予算はおもに公共事業に使われますが、それが、下請も含めて地元企業に発注され、しかも、現場で働く人の賃金・単価が不当に切り下げられないようにする必要があります。

そのためにも、公契約条例や、中小企業振興基本条例などをつくり、実効ある施策を実現していくために、がんばっていきます。

京建労左京支部定期大会 ～アスベスト被害の救済と根絶を～



あいさつする倉林明子参議院予定候補

京建労左京支部第45回定期総会が行われました。例年、支部長さんのあいさつのところで、一年間の物故者に対する黙祷が行われるのですが、今年はその中にアスベスト裁判をたたかっている方が含まれていました。

ご存知のように、アスベストは「静かな時限爆弾」と呼ばれており、アスベストを吸引して30年、40年経ってか

ら健康被害が発生しています。建築労働者の中にも広く被害が広がっていますが、労災認定される方は少なく、認定を求める裁判が全国でたたかわれています。アスベスト被害が広がったのは、その毒性を知らずながら、使い続けた大企業と、それを容認してきた国に原因があることは明らかです。



アスベスト裁判のお二人の原告（遺族）もあいさつされました

左京支部でも2人の方が裁判をたたかっていますが、残念ながら2人とも亡くなられており、ご遺族が裁判を継続されています。私は、京建労で働いているときからお二人と親しくさせていただいていましたから、余計に、国と大企業への怒りがこみ上げてきます。

二度とこうした被害者をつくらぬことは、まさに政治の責任だと思います。

倉林さんと洛北を宣伝



倉林明子さんと一緒に、市原、鞍馬、静原、大原、八瀬で街頭宣伝。

経済の立て直し、原発即時ゼロ、憲法改悪許すな、の願いをぜひとも共産党へお寄せ下さい、と訴えて回りました。

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

4月に小学校3年生になった次女。2年生の年度末にもらってきた成績表で「がんばろう」が一つ増えていました。それを親に渡しながらかんがえているのになんで『がんばろう』なんやろ」と、本当に不思議そうにつぶやいていました。

自分はがんばっている、と思えることは大事なことだと思います。それができている次女は素敵です。